

「アルプスを舞台にした映画」

あかさわ

今夏のアルプス山行では時間があつたので登山鉄道とロープウエーを乗り継いでヴェンゲン〜ラウターブルンネン〜ミューレン〜シルトホルンと回ってきた。シルトホルン（標高 2970m）はユングフラウヨッホに次いで人気の高い展望台でその日は絶好の天気にも恵まれ、回転レストラン「Piz Gloria」でビールを飲みながらユングフラウ、メンヒ、アイガー等 360 度の絶景を存分に楽しんできた。

ここは映画「女王陛下の 007」の舞台になった事でも有名で、館内には 007 コーナーも設けられ賑わっていた。公開当時観た記憶はあるのだが、細部は忘れてしまったので帰国後すぐに TSUTAYA に行き DVD を借りてきた。お話はいつものように荒唐無稽、笑ってしまうが、景色は見てきたまま、懐かしさもあり充分楽しめた。アルプスの美景が出てくる映画は楽しい。私にとって映画を観てその背景の山に憧れ、何という山だろうと推測したり、あるいは行った事のある山を発見して懐かしく思う等映画も又山の楽しみの一つになっている。そこでこれまで観たアルプスを舞台にした映画を幾つか紹介したい。

① 「女王陛下の 007」 1969 年作 主演：ジョージ・レーゼンビー

007 シリーズ第 6 作目。前 5 作に主演し一躍大スターの仲間入りしたショーン・コネリーが下り、2 代目ボンド役となったレーゼンビーだったが、あまり評判良くなかったこの 1 作のみで下ろされた。ストーリーはともかくユングフラウ三山の絶景を眺めるだけでも楽しめる。

② 「氷壁の女」 1982 年作 主演：ショーン・コネリー

監督が「真昼の決闘」のフレッド・ジンネマンなので期待したが、叔父と姪の禁断の愛に山岳ガイドとの三角関係という暗いお話で、地味過ぎたか興行的には失敗で監督ジンネマンは落ち込んだという。ショーン・コネリーがジェームス・ボンドのイメージを殺し、渋い演技でアクションスターから演技派へと目覚めた一作とも云われる。山岳シーンはなかなか見応え有り、もう 1 度観てみたいと思って DVD を探している。

③ 「アルピニスト岩壁に登る」 1959 年作 主演：リオネル・トレイ

高校 2 年生の時に観てアルプスの山々に憧れるきっかけとなった忘れられないドキュメンタリー映画。脚本はアンナプルナ初登頂のモーリス・エルゾーグの実弟ジェラルド・エルゾーグ。トレイの他ルネ・デメゾン等当時のフランスを代表するクライマーがシャモニー針峰群を舞台に手に汗握るスリルと緊張、華麗なテクニックを披露している。

④ 「シャレード」 1963 年作 主演：オードリー・ヘップバーン

世界的にヒットしたサスペンスコメディ。オープニングシーンのスキー場が何処なのかずっと気になっていたが冬期オリンピックが開催されたフランスのグルノーブル近くのメジェーブとの事。撮影されたホテルはサンモリッツにあるらしい。共演のケーリー・グラントのおとぼけが今は懐かしい。

⑤ 「武器よさらば」 1957 年作 主演：ジェニファー・ジョーンズ

原作は A・ヘミングウェイ 共演のロック・ハドソンもジェニファーもダイコンで、期待外れの凡作だったが 2 人でボートを漕いでスイスへ脱出するシーンを何故かよく憶えている

⑥ 「フレンチアルプスで起きた事」 2014 年スウェーデン作

第 67 回カンヌ映画祭審査員賞受賞。家族でファミリースキーにきていた父親が突然雪崩に襲われた時、とっさにとった彼の行動は？ 撮影はフランスのレザルツスキー場。日本の三陸地方には「てんでんこ」という言葉が言い伝えられているが、欧米のお父さんは大変です。

⑦「アイガーサンクション」 1975年作 主演・クリント・イーストウッド

山岳アクション映画。イーストウッドは元CIAの殺し専門の捜査官。捜査官がどうしてアイガー北壁に登らねばならなかったのか、分からずもう1度観てみたいのだが、DVDは出てないみたいだ。

⑧「サウンド・オブ・ミュージック」 1965年作 主演ジュリー・アンドリュース

世界的大ヒット。バックの山々はザルツブルク郊外のオーストリア・アルプスで凄みはないが、雄大で美しい。トラップ大佐を演じたクリストファー・プラマーは今年87歳、いまでも現役で渋い演技をみせてくれる（手紙は憶えている・2016年作）。この映画に触発されザルツブルグやチロルを訪れる観光客が倍増したらしいが、その気持ち分かります。ザルツブルグにはサウンド・オブ・ミュージックツアーが今も人気あるそうです。

アルプスを舞台にした映画の代表は「アルプスの少女ハイジ」（1937年）であるに違いないが、アニメ版含めて私は観ていない。近々「新アルプスの少女ハイジ」が公開されると聞いている。他にも1937年の悲劇を再現した山岳映画「アイガー北壁」（2008年）とかガストン・レビューファの「天と地の間に」（1967年）等もう1度観たいと思う映画はあるが、今思い浮かぶのはこんな所か。

そうそう番外編としてトニー・ザイラーの「黒い稲妻・1958」と「白銀はまねくよ・1959」を入れておこう。お気楽映画だがスキー場といえば上越の石打スキー場しか知らなかった当方、チロルのスキー場の雄大さに息をのんだ。白銀は招くよの主題歌は大ヒット、アルプスは憧れの地となったものだが、まさか本当に訪れる日が来るなんてあの頃思いもよらなかったもの。他にも何かありそうだが、思いつかない。

どなたかアルプス舞台のいい映画ご存じだったら教えて下さい。

（完）